

様式第5（第10条関係）

高浜市ふるさと応援交付金実績報告書

令和8年5月7日

高浜市長 あて

所在地高浜市呉竹町7丁目1番地
23

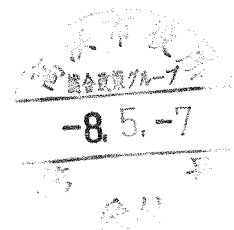
事業者 団体名 高浜づくり市民会議
代表者名 鈴木 康博

令和7年5月19日付け7高総政第29-3号で交付決定のあった令和7年度高浜市ふるさと応援交付金について、当該交付金の交付の対象となる事業年度が終了したため、高浜市ふるさと応援交付金交付要綱第10条の規定により、下記のとおり報告します。

なお、この報告書及び添付書類の内容については、必要に応じて高浜市ふるさと応援交付金交付要綱第11条の規定により公表されることを承諾します。

記

- 1 添付書類
 - (1) 事業報告書
 - (2) 収支決算書
 - (3) その他市長が必要と認める書類



(別紙6)

事業実績報告書

事業の 実施期間	令和7年 4月 1日 (火) から 令和8年 3月 31日 (火) まで		
事業の	シン・タカハマ物語	Kids Now チャンネル	実行委員会・打合せ会

実施回数	アニメ作画 4 / 6	取材・撮影 4 / 2 7	4 / 6
	編集ワークショップ	取材・撮影 6 / 8	4 / 1 3
	4 / 6	取材・撮影 8 / 2 5	6 / 8
	アニメ作画 4 / 1 3	取材・撮影 1 0 / 1 2	7 / 1 3
	編集作業 4 / 1 3	取材・撮影	8 / 3
	アニメ作画 5 / 1 1	R 8 ・ 2 / 1	8 / 2 4
	声優ワークショップ	《 実施予定 》	8 / 2 5
	5 / 1 2	取材・撮影	9 / 2 8
	編集ワークショップ	R 8 ・ 3 / 2 2	1 1 / 3 0
	5 / 1 2		1 2 / 2 8
	アニメ作画 5 / 1 5		R 8 ・ 1 / 2 0
	アニメ作画 5 / 1 8	《編集作業》	1 / 2 5
	アニメ作画 5 / 2 5	6 / 8 ~ 6 / 3 0	1 / 3 1
	声優オーディション	9 / 1 ~ 9 / 2 0	2 / 1
	6 / 8	1 0 / 1 5 ~ 1 1 / 1 0	2 / 2 2
	アニメ作画 6 / 2 2	R 8 ・ 2 / 2 ~	3 / 1
	アニメ作画 6 / 2 9	2 / 2 8	3 / 1 4
	アニメ作画 7 / 1 3	R 8 ・ 3 / 2 3 ~	3 / 2 2
	声優練習会 7 / 1 3	3 / 3 1	
	編集作業 7 / 1 3		
	アニメ作画 7 / 2 1		
	アニメ作画 8 / 3		
	アニメ作画 8 / 2 4		
	声優アフレコ 8 / 2 5		
	編集作業 9 / 1 4		
	編集作業 9 / 2 8		
	編集作業 1 1 / 3 0		
	編集作業 1 2 / 2 8		
	関係者試写会		
	R 8 ・ 2 / 1		
	上映会		
	R 8 ・ 3 / 2 2		

事業の実施時間	事業実施日の 午前 9時00分 ~ 午後 6時00分 まで 1回当たり 5~8時間 (延べ180時間以上) ※編集時間は除く
事業の参加人数	<p>提案者 1回当たり 5~7人 (延べ 人)</p> <p>一般参加者 1回当たり 6~15人 (延べ 人)</p> <p>アニメ作画 一回当たり スタッフ 5人 参加者 5~8人 (中・高生)</p> <p>声優 オーディション・声優練習会・アフレコ 一回当たりスタッフ 5~7人 参加者 10~15人</p> <p>編集作業 (アニメ製作) 一回当たり スタッフ 5人 参加者 3~5人</p>
事業の実施地域	高浜市内、碧海五市+西尾市内、愛知県内
事業の対象者	小学生、中学生、高校生、大学生、市民、 高浜市内在勤者、高浜市出身者

事業の
具体的内容

「市民予算枠事業（協働推進型）提案書（実施計画書）事業概要書」で記載した、現状・課題の改善・克服・解決に向けて、どのような手段・方法をとったのかを具体的に記載してください。

こども・若者成長応援事業として「シン・タカハマ物語」の制作、また、Kids Nowチャンネルの二本立てで活動を行ってきました。

シン・タカハマ物語では、アニメ作画を毎月一回7時間のペースで実施してきました。指導の先生元でデジタル機器を用いた作画を行いました。アニメ風作画の完成まで地道な作画をやってもらいました。

原作から作品を膨らませるために実写部分を撮影したものの編集も小中学生に行ってもらいました。その編集したものをAIでの完全アニメ化にもトライしてもらいましたが、AIでの作品化はまだ問題も多く、参考として公開する予定です。アニメ風作画・編集作業についても、多くのこどもたちは学校での部活や習い事があり忙しい中、積極的に参加してくれたことに感謝いたします。

声優オーディションに合格したこども・若者の皆さんには声優練習会に参加していただき熱心にキャラクターになり切り練習をしていただきました。また、名古屋の声優養成所でアフレコに参加していただき、声優として体験していただきました。

開催した上映会では参加したこども・若者達が会場準備など積極的に行い、大人と交わりながら役割をこなしてくれました。また、司会・撮影・受付などもそつなくこなしてくれました。

Kids Nowチャンネルでは、新たなリポーター・カメラマン希望のこども達が加わり、積極的に取材・撮影の体験等をしてもらっています。

事業の 効 果 (具体的に)	<p>【事業の対象地域・対象者にとって】</p> <p>アニメ作画においては、完成を目指して締め切りが決まっている中で責任をもって作画する事。そしてアニメ風作画作りを通して縦長の交流、横長の交流を経験し作画ソフトの使い方もマスターできるような機会を提供し更に成長していただいています。</p> <p>また、声優としてアフレコにのぞんだこども・若者達もアフレコという場でマイクや機材、音を立てられない緊張感の中で自分のセリフに向き合い一つの作品を作ることに参加していただき、高校生や大学生達が小学生の子達をサポートしながら上手くアフレコができました。まさに世代間交流でつながることができたと思います。</p> <p>編集作業に携わった小学生・中高生は作品づくりを通して、経験・技術を磨いていただきました。そして、編集した場面を更にAIでのアニメ化にも挑戦していただき今後更に普及してくる「AI」にもふれていただきました。それは更なる成長の糧になると思います。上映会では来場された方々は市内をはじめ市外からの方も多く、上映後に「こども達が活躍している姿が良かった」、「映画も心温まる内容で良かった」、「高浜市の素敵な取り組みがしくて良かった」などの感想を頂きました。</p> <p>Kids Nowチャンネルの参加者は市内外での取材・撮影により、五本の作品を作りあげました。取材・撮影した作品は、KATCH内で放送されました。また、年度は変わりますが来年度の春にも放送される予定です。Kids Nowチャンネルでの活動を通してこども達は、高浜に関する情報を事前に調べ、地域の人々と関わることで、高浜に対するシビックプライドを育んでいます。今年度取材した物はケーブルテレビネットワークKATCH内の「市民放送局チャンネルDaichi」で6回の放送をしていただきKATCH関係者・番組関係者からは「リポーターのこども達が一月ごとに自分の意見や感想を堂々と言えるようになり、成長がリポートを通して感じとれる」、「大変よい取り組みですね。」と感想を頂いています。</p>
----------------------	--

【提案者にとって】

過去の活動に参加してくれた子達（当時は小学生や中学生）が大学生や社会人となり、今度は制作スタッフとして関わったり、こども達の世話をしたりする等、長年活動を継続してきたことにより、高浜市内で縦長・横長のつながりを作れている実感を得ています。

【高浜市にとって】

今後、芸術の分野でも高浜出身の若者が生まれるきっかけにつながると思います

役割分担の 適切性	協働推進型の実施において、提案者と事業担当Gの間における役割・責任分担について良かった点、あるいは改善すべきと感じた点があれば記載してください。	
	【良かった点】 市内の会場の予約や様々な手配等を分担して行うことをしてもらえてよかったです。	【改善すべき点】 特に無し
実施にあたっての問題点(苦情・トラブル等)や苦勞した点	三年間での作品作りで参加しているこども・若者達が進学・進級したりして学校の部活動が始まったり・受験で時間が取れないなどの諸事情が発生して参加してもらえるタイミングの調整と作品の完成のスケジュールが厳しくなった。	
今後の方向性、具体的な方針・将来展望	<input type="checkbox"/> 拡大して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 終了する 今後、この事業をどのように取り組んでいきたいかという方向性や、積み残し課題・改善点などがあれば記載してください。 シン・タカハマ物語を含めた4作品の上映会を市内の小校区単位で展開を図りたい。また、Kids Nowチャンネルは引き続き継続をする。	
その他 特記事項		

(別紙 7)

収 支 決 算 書

(収入の部)

(単位：円)

区 分		計画額	決算額	差額	積 算 内 訳
市民予算枠事業交付金①		1,000,000	1,000,000	0	市民予算枠事業交付金
よる 事 業 に 入 る 収入	参加者負担金	0	0	0	
	寄付金・協賛金	257,000	36,000	221,000	協賛金・ふるさと応援交付金
	計 ②	257,000	36,000	221,000	
その他の収入 ③		280,000	266,196	13,804	子どもゆめ基金
		0	90,693	▲90,693	団体自己資金
合 計 ④		1,537,000	1,392,889	144,111	=①+②+③ (=⑦支出 の合計)

(支出の部)

区 分		計画額	決算額	差額	積 算 内 訳
交付 対象 経費	報償費	99,000	392,000	▲293,000	声優指導料 148,000 円 デジタル作画指導 154,000 円 チラシデザイン制作謝礼 65,000 円 DVD パッケージデザイン謝礼 25,000 円
	需用費	0	12,886	▲12,886	デジタル作画用ペン 1,465 円 PC 周辺機器 11,421 円
	食糧費	19,000	0	19,000	
	印刷製本費	145,000	39,699	105,301	チラシ印刷代 15,719 円 チラシ印刷代 23,980 円

<p>役務費</p>	<p>69,000</p>	<p>73,502</p>	<p>▲4,502</p>	<p>振込手数料 1,540 円 ポケット Wi-Fi 64,452 円 プロバイダー・ドメイン代 3,770 円 振込手数料 3,740 円</p>
<p>使用料及び賃借料</p>	<p>456,000</p>	<p>178,750</p>	<p>277,250</p>	<p>ワークショップ会場費 28,970 円 有料道路通行料 2,310 円 バスチャーター代 33,550 円 駐車場代 6,000 円 収録スタジオ使用料 50,000 円 作画ソフト使用料 5,760 円 上映会会場費 18,070 円 音響・プロジェクター 30,000 円 ドメイン使用料 2,530 円 プラザ会議室使用料 1,560 円</p>



様式第3 (第7条関係)

高浜市ふるさと応援交付金交付決定通知書

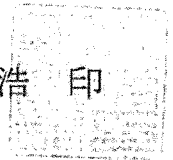
7 高総政第 29-3 号

令和 7 年 5 月 19 日

高浜づくり市民会議

鈴木 康博 様

高浜市長 吉岡 初浩 印



令和 7 年 5 月 16 日付けで交付申請のあった令和 6 年度高浜市ふるさと応援交付金については、高浜市ふるさと応援交付金交付要綱第 7 条の規定により、下記のとおり交付することに決定しましたので通知します。

記

1 交付額 36000 円

2 交付条件

- (1) 高浜市ふるさと応援交付金交付要綱第 4 条 に規定する交付条件を遵守してください。
- (2) 当該交付金の交付の対象となる事業年度が終了したときは、高浜市ふるさと応援交付金交付要綱(以下「要綱」という。)第 11 条の規定により、速やかに高浜市ふるさと応援交付金実績報告書を提出してください。
- (3) この交付金の使途について不相当と認めるときは、交付決定した内容の全部若しくは一部を取り消し、又は既に交付した交付金の全部若しくは一部を返還していただく場合があります。